

A.2.1 気候変動適応情報プラットフォーム（A-PLAT）

A-PLAT(<https://adaptation-platform.nies.go.jp/index.html>)には、気候変動適応に取り組む地方自治体や企業、個人の方に向けた様々な情報やデータが掲載されており、企業において気候変動適応に取り組む際に活用することができます。とりわけ、「事業者の適応」メニューからは、企業が自社の気候関連リスクを評価する際に活用可能な資料や先進事例など取組を進める上で有用な情報を得ることができます。

 気候変動と適応 気候変動適応について、分かりやすく解説されており、緩和策と適応策の役割など、 気候変動適応に関する基礎的な知識が得られる。
 国の取組 気候変動適応に関する国全体の取組と、関係省庁、研究機関の取組が紹介されており、 法律等の制度の動きを把握することができる。
 地域の適応 地域気候変動適応計画に関係する情報など、 企業が活動する地域の特性に応じた適応に取組むための有益な情報を得ることができる。
 事業者の適応 事業者が自らの事業内容に即した気候変動適応に取り組む際に活用できる情報を得ることができる。
 個人の適応 従業員の家族の健康と安全を守るために、個人レベルの適応策を啓発する際などに活用できる。

民間企業の気候変動適応ガイド

民間企業の気候変動適応ガイドー気候リスクに備え、勝ち残るためにー（令和4年3月改定版）を掲載

事業者の適応に関する参考資料

民間企業の気候変動適応やTCFDに関する報告書や啓発書など、参考となる国内外の公開資料を紹介（**掲載例1**）

影響評価情報

気候変動の観測・予測結果や評価ツールなど、シナリオ分析、適応策検討に活用できる情報を提供（**掲載例2**）

インフォグラフィック（事業者編）

主な適応策を業種別、業種間で共通する項目別に整理し、視覚的に表現した図（インフォグラフィック）を掲載（**掲載例3**）

適応ファイナンス

気候変動適応促進のための「適応ファイナンス」の意義と手法及びBCM格付けと保険を組み合わせた商品など具体例を紹介

気候リスク管理の事例

国内企業が実施している、気候変動影響評価や気候リスク管理など、気候変動リスク対策の実例を紹介

適応ビジネスの事例

国内企業が自社の製品やサービスを適応ビジネスに活用している事例を紹介

TCFDに関する取組事例

TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）に関する事業者の取組事例を紹介

気候変動リスク産官学連携ネットワーク

気候変動影響予測やTCFD提言の対応支援を行う企業と政府、研究機関のネットワークの活動を紹介。

イベント情報

国立環境研究所主催の事業者向けの適応イベント情報を紹介。また、過去のイベントの資料等を提供

掲載例 1 事業者の適応に関する参考資料

官公庁、研究機関など様々な機関が公開した情報が掲載されています。記載内容の概要や関係資料のリンク先も紹介されています。



環境省
2020年発行

座談会「気候変動対応を通じた企業価値向上に向けて～TCFDシナリオ分析と開示の最前線～」に関する連載記事

環境省では、企業の気候変動対応の推進に向けて、2020年3月19日に、座談会「気候変動対応を通じた企業価値向上に向けて～TCFDシナリオ分析と開示の最前線～」を実施しました。その模様を第五回の連載記事として掲載しています。

- ・ 第一回 TCFDの意義 [🔗](#)
- ・ 第二回 経営陣の巻き込みと社内のコンセンサスづくり [🔗](#)
- ・ 第三回 企業のシナリオ分析での苦労と今後の課題（2020年8月4日掲載） [🔗](#)
- ・ 第四回 投資家から企業への期待（2020年8月28日掲載） [🔗](#)
- ・ 第五回 投資家とのエンゲージメント（2020年8月28日掲載） [🔗](#)

最新情報はこちら：環境省ホームページ「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）」 [🔗](#)



CDP
2022年発行

【ダイジェスト版】CDP 気候変動 レポート 2021：日本版 [🔗](#)

CDPは、毎年日本企業500社を対象に気候変動に関する調査をしています。レポートでは、調査から得られた回答を基に、企業の気候変動に関する取り組み状況の動向がまとめられています。2018年より気候変動関連シナリオ分析の導入状況についての調査項目が新しく導入されました。

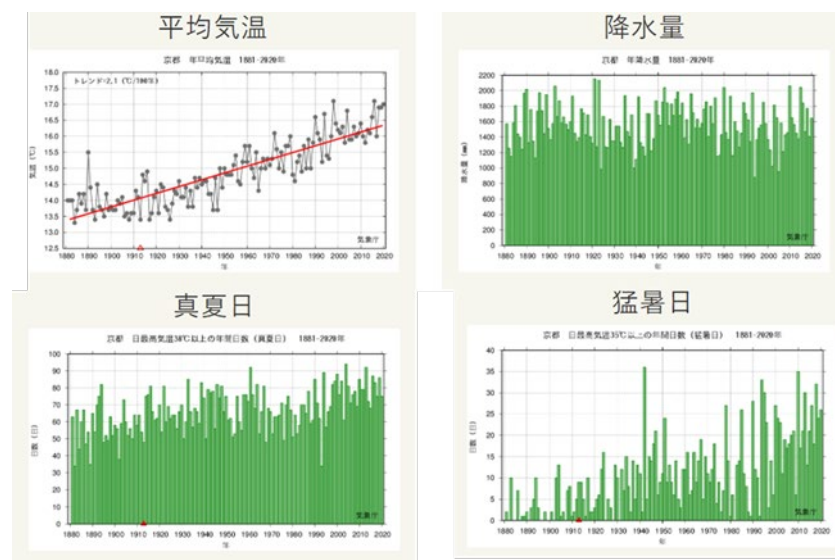
関連レポート：

- ・ 【ダイジェスト版】CDP 水セキュリティ レポート 2021：日本版 [🔗](#)
- ・ CDPサプライチェーンレポート 2020ダイジェスト版【日本語】 [🔗](#)
- ・ CDP 気候変動 レポート 2020：日本版 [🔗](#)

掲載例 2 影響評価情報（1）

気象観測データ（気象庁提供）

全国及び都道府県毎に過去から現在までの気象庁による観測データ4点 ①平均気温 ②降水量 ③真夏日 ④猛暑日のグラフを出力することができます。これらの情報から、工場・事業所の立地ごとに長期的な気候変化の動向を把握することができます。



掲載例 2 影響評価情報（2）

将来予測、影響評価結果の地理情報（Web GIS）

気候予測や気候変動の影響予測結果の空間分布を、地理情報システム（GIS）を用いて視覚的に表示することができます。

情報の種類によって異なりますが、複数の気候シナリオ（RCP2.6、RCP8.5等）での現在から2100年までの10年ごとの年別・月別の予測結果を空間解像度1kmで入手することができます。今後、順次予測結果の追加が予定されています。

Web GISで入手可能な情報

2022年3月時点

気温関係予測情報

日平均、年平均、日最高、日最低、猛暑日数、真夏日数、夏日数、熱帯夜数、冬日数、真冬日数

降水量関係予測情報

月平均、年平均、最大日量、無降水日数、日降水量50mm・100mm・150mm・200mm以上の日数、1時間降水量30・50mm以上の発生回数、年降雪量、年最深積雪

その他気象関係予測情報

日平均風速、日平均相対湿度、日平均日射量、年平均海面水温、年最大海面水温、最小海面水温

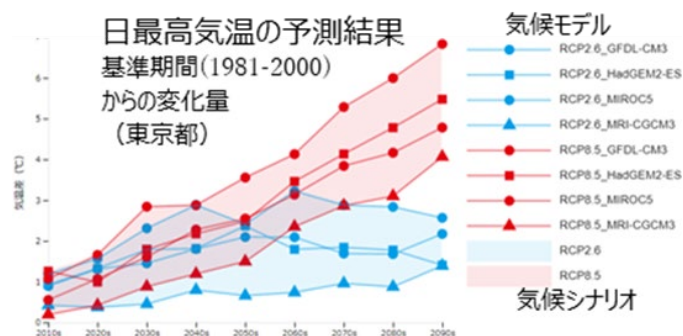
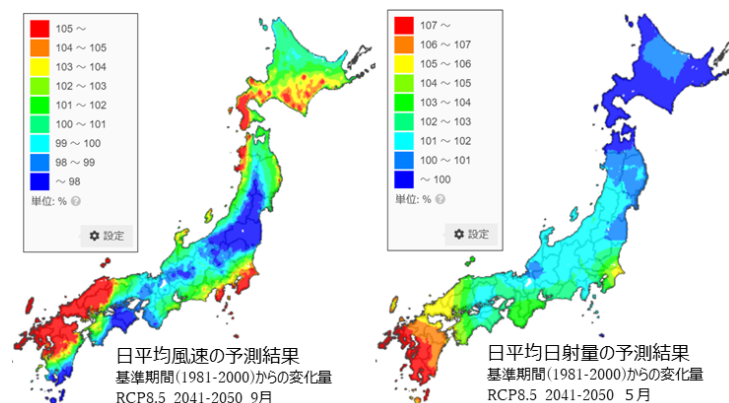
気候変動影響の予測情報（健康・環境）

洪水氾濫（最大浸水深、被害額）、熱中症搬送者数、熱ストレス超過死者数、ヒトスジマカ生息域、斜面崩壊発生確率、砂浜消失率、砂浜消失（77沿岸区分、886海岸区分）、砂浜浸食（被害額、単位面積当たり被害額）、クロフイルa濃度変化（年最高、年平均）

気候変動影響の予測情報（農業・生態系）

コメ（収量、品質）、白未熟粒の割合、潜在生育域（アカガシ、シラビソ、ハイマツ、ブナ）、竹林の分布可能域、松枯れ危険域、気候変動の速度

Web GISで入手可能な情報の詳細を表 A.2.1 に示しました。



Web GISの出力例
CMIP5をベースにしたCDFDM
手法による日本域バイアス補正
気候シナリオデータ（国立環境
研究所）による、RCP8.5シナ
リオにおける予測結果

表 A.2.1 WebGIS（オンライン地理情報システム）で入手可能な情報（2022年3月時点）

将来予測項目ごとに、予測結果が得られる将来シナリオと、予測情報が提供されている期間、空間解像度を示しています。なお、将来予測データとは、将来予測データの元となるデータセットの略称です。

データセットの略称	実施機関	データセットの名称
NIES2019 ver201909	国立環境研究所	CMIP5 をベースにした CDFDM 手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ
NARO2017 データ	農研機構	日本全国 1km 地域気候予測シナリオデータセット
FORP-JPN02 version2 データ	海洋研究開発機構	「日本近海域 2km 将来予測データ」by SI-CAT
気象庁第 9 巻データ	気象庁	温暖化予測情報 第 9 巻
地域適応コンソーシアムデータ	環境省	地域適応コンソーシアム事業（2017～2020）
SI-CAT データ	文部科学省	気候変動適応技術社会実装プログラム（2015～2019）
S8 データ	環境省	環境研究総合推進費 S-8 温暖化影響評価・適応政策に関する総合的研究（2010～2014）

例えば、日平均気温は、国立環境研究所が実施した、NIES2019 ver201909 “CMIP5をベースにしたCDFDM手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータ”による、気候シナリオRCP2.6とRCP8.5の、2021-2030年から10年ごとに2091-2100年までの予測結果を、空間解像度1kmで年平均及び月平均として求めることができます。⁷また、表示される結果は、基準期間（1981-2000年）との差となります。

	将来予測項目 将来予測データ	RCP				予測情報が提供されている期間									空間 解像度	
		2.6	4.6	6.0	8.5	現在	2021- 2030	2031- 2040	2041- 2050	2051- 2060	2061- 2070	2071- 2080	2081- 2090	2091- 2100		
気温	日平均気温 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差
	年平均気温 S-8	○	○		○		21世紀半ば						21世紀末		1km	基準期間(1981-2000年) との差
	日最高気温 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差
	日最低気温 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差
	猛暑日数 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差
	真夏日数 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差

⁷ 現在WebGISに搭載されていませんが、別途CMIP6をベースにしたCDFDM手法による日本域バイアス補正気候シナリオデータの配信も行っています
(<https://www.nies.go.jp/doi/10.17595/20210501.001.html>)。

	将来予測項目 将来予測データ	RCP				予測情報が提供されている期間										空間 解像度	
		2.6	4.6	6.0	8.5	現在	2021- 2030	2031- 2040	2041- 2050	2051- 2060	2061- 2070	2071- 2080	2081- 2090	2091- 2100			
	夏日年間日数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				現在気候（1980～1999）との差	
	熱帯夜年間日数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				現在気候（1980～1999）との差	
	冬日年間日数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				現在気候（1980～1999）との差	
	真冬日年間日数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				現在気候（1980～1999）との差	
降水量	降水量 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との比	
	年降水量 S-8	○	○		○		21世紀半ば					21世紀末			1km	基準期間(1981-2000年) に対する相対値	
	最大日降水量 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との比	
	無降水日数 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差	
	日降水量50mm以上の日数 NIES2019ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差	
	日降水量100mm以上の日数 NIES2019ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差	
	日降水量150mm以上の日数 NIES2019ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差	
	日降水量200mm以上の日数 NIES2019ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との差	
	時間降水量30mm以上の回数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				年間発生回数 現在気候（1980～1999）との差	
	時間降水量50mm以上の回数 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095				年間発生回数 現在気候（1980～1999）との差	
積雪量	年降雪量 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095			5km	現在気候（1980～1999）との差	
	年最深積雪 気象庁第9巻データ	○			○							2076-2095			5km	現在気候（1980～1999）との差	
その他	日平均風速 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との比	
	日平均相対湿度 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との比	

	将来予測項目 将来予測データ	RCP				予測情報が提供されている期間									空間 解像度	
		2.6	4.6	6.0	8.5	現在	2021- 2030	2031- 2040	2041- 2050	2051- 2060	2061- 2070	2071- 2080	2081- 2090	2091- 2100		
	日平均日射量 NIES2019 ver201909	○			○	2011- 2020	○	○	○	○	○	○	○	○	1km	年及び月平均 基準期間(1981-2000年) との比
	年平均海面水温 FORP-JPN02version2データ	○			○								2086-2099			年及び月平均 基準期間 (1991-2005) との差
	年最大海面水温 FORP-JPN02version2データ	○			○								2086-2099			年及び月平均 基準期間 (1991-2005) との差
	年最小海面水温 FORP-JPN02version2データ	○			○								2086-2099			年及び月平均 基準期間 (1991-2005) との差
健康影響	熱中症搬送者数 S-8	○	○		○			21世紀半ば					21世紀末			基準期間1981-2000)における熱中症患者 数を1とした場合の相対値
	熱ストレス超過死亡者数 S-8	○	○		○			21世紀半ば					21世紀末			基準期間(1981-2000)における熱ストレスに よる超過死亡者数を1とした場合の相対値
	ヒトシジマカ生息域 S-8	○	○		○	1981- 2000		21世紀半ば					21世紀末	1km		基準期間(1981-2000年) に対する相対値
洪水・土砂 災害	洪水氾濫（最大浸水深） SI-CATデータ	○			○								2081-2100	0.25Km		将来気候における降水量を求め、それを入力 値として将来の浸水深を求めた。
	洪水氾濫（被害額） SI-CATデータ	○			○								2081-2100	0.25Km		再現確率が30年、50年、100年、200年の 各洪水被害額をもとに年期待被害額を算出
	斜面崩壊発生確率 S-8	○	○		○	1981- 2000		21世紀半ば					21世紀末	1km		将来の日降水量（年最大日降水量）におけ る斜面崩壊発生確率
砂浜侵食	砂浜消失率 S-8	○	○		○			21世紀半ば					21世紀末			海面上昇量の将来予測結果に対する砂浜侵 食量を予測
	砂浜消失 SI-CATデータ	○	○	○	○								2081-2100			77沿岸区分 基準年（1986-2005）に対する消失率
	砂浜消失 SI-CATデータ	○	○	○	○								2081-2100			8 8 6 海岸区分 基準年（1986-2005）に対する消失率
	砂浜侵食による被害額 SI-CATデータ	○	○	○	○								2081-2100			砂浜侵食による都道府県別の被害費用
	砂浜侵食による被害額 SI-CATデータ	○	○	○	○								2081-2100			単位面積当たり 砂浜侵食による都道府県別の被害費用
水環境	クロロフィルa濃度変化 S-8	○	○		○			21世紀半ば					21世紀末			年最高 基準期間(1981-2000)を1とした 場合の相対値
	クロロフィルa濃度変化 S-8	○	○		○			21世紀半ば					21世紀末			年平均 基準期間(1981-2000)を1とした 場合の相対値
農業、植生	コメ収量 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末	1km		基準期間(1981-2000)を1とした場合の相 対値

	将来予測項目 将来予測データ	RCP				予測情報が提供されている期間										空間 解像度	
		2.6	4.6	6.0	8.5	現在	2021- 2030	2031- 2040	2041- 2050	2051- 2060	2061- 2070	2071- 2080	2081- 2090	2091- 2100			
等への影響	コメ品質 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	出穂後20日間の日平均気温26℃以上の積算値	
	白未熟粒の割合 SI-CATデータ	○			○		○	○						1km	白亜質米の割合への影響		
	潜在生育域（アカガシ） 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	生息域	
	潜在生育域（シラビソ） 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	生息域	
	潜在生育域（ハイマツ） 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	生息域	
	潜在生育域（ブナ） 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	生息域	
	竹林の分布可能域 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	分布確率	
	松枯れ危険域 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	危険度分布	
	気候変動の速度 地域適応コンソーシアムデータ	○			○			21世紀半ば					21世紀末		1km	Velocity of Climate Change	